



## 原子力経験共有セミナー・イン・タイを開催しました

平成 26 年 3 月 24 日～28 日の 5 日間、タイのバンコクにおいて「原子力経験共有セミナー・イン・タイ」を開催しました。このセミナーは、日本の 50 年におよぶ原子力発電事業で得られた知識や経験を、原子力発電の新規導入予定国であるタイと共有することを目的に、文部科学省国際原子力人材育成イニシアティブ事業の一環として実施し、講義やパネルディスカッションを行いました。

講義は、放射線防護や原子力発電所建設、安全対策等の技術的な基礎講義に始まり、福島事故の教訓や安全文化、さらには原子力発電所導入において大きな課題となる人材育成や広報理解活動に至るまで、幅広いトピックスを組み入れました。また、パネルディスカッションでは、人材育成や原子力発電所立地地域の発展について討論を行い、参加者の知見を深めました。



セミナー参加者の様子



パネルディスカッションの様子

セミナーには、日本から福井県内の大学や原子力の実務経験者などの専門家 10 名が、講師やパネリストとして参加しました。

また、タイからは、エネルギー省や原子力研究所、大学等、多数の原子力関連機関から、延べ 120 名以上が参加し、自国の原子力発電導入に向けて熱心に講義に聴き入るとともに、ディスカッションでは活発な意見交換が行われました。

## 平成26年度「拠点化計画促進事業補助金」の募集を開始しました

エネ研では、福井県内企業の皆さまを対象に、「エネルギー研究開発拠点化計画推進方針」の充実・強化分野である原発事故、将来の廃炉およびエネルギーの多元化に対応する分野の新技术・新製品の研究開発を支援する拠点化計画促進研究開発事業を実施しています。

この度、本年度の募集を開始しましたので、お知らせします。

制度名称	対象事業	対象者	補助額(補助率)	募集
拠点化計画促進事業	① 原発事故に対応する技術開発の推進、将来の廃炉に備えた対応 ② エネルギーの多元化への対応	① 福井県内に開発拠点となる事業所を有する企業 ② 上記①を含むグループ	2,000 万円以下 (2/3 以内)	4/14～ 5/12

詳細については、エネ研・産業育成部（☎ 0770-24-7276）まで、お問合せください。

## エネ研・新メンバー紹介

平成26年3月31日の評議員会および理事会、平成26年4月1日付けの人事異動を経て、新メンバーが加入しました。



専務理事

うめだ たけひこ  
梅田 武彦

4月1日に（公財）若狭湾エネルギー研究センターの専務理事に着任しました。

県の「エネルギー研究開発拠点化計画」に基づき、基本理念である「安全・安心の確保」、「研究開発機能の強化」、「人材の育成・交流」、「産業の創出・育

成」の着実な推進に取り組みます。

特に26年度の「充実・強化分野」として、原子力の安全を支える人材の育成、原子力緊急事態対応の体制整備、原発事故に対応する技術開発の推進などの「強固な安全対策の具体化」、そして企業誘致、新産業創出の加速、エネルギー多元化への対応、将来の廃炉に備えた対応などの「嶺南地域の産業・雇用対策を強化」を重点的に進めたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



福井県国際原子力  
人材育成センター長

きたばた たくや  
北端 琢也

（独法）日本原子力研究開発機構から河西前センター長の後任として着任しました。

最近、原子力発電事業に係わる人材育成の重要性が、改めて認識されております。

私のこれまでのふげん発電所勤務、海外研究者の受け入れ、国際

会議を開催した経験やネットワークを活かし、人材育成に貢献していきたいと考えています。

特に、昨年10月の福井県と国際原子力機関（IAEA）による覚書の締結を受け、世界の原子力の平和的で安全な利用のために必要な人材育成について、当センターでは、IAEAとの共催研修の開催、IAEAからの講師や国際会議への招聘など、人材育成事業の充実に継続して取り組んでまいります。



企画支援広報部長

ひぐち ちかつぐ  
樋口 治華次



福井県国際原子力人材育成センター  
国際人材育成 Gr 次長補佐

わたなべ まさのり  
渡邊 正則



研究開発部粒子線医療研究 Gr  
主査研究員

いとう ふゆみ  
伊東 富由美

